

新年のご挨拶

一般社団法人 日本トイレ協会 会長 高橋 志保彦



新年明けましておめでとうございます。

昨年は大変充実した一年でした。旧理事の方々を始め全会員の皆様のご協力で、一般社団法人となりました。社会的認知度も上がり、使命感も深く、責任も重くなりました。

4月14日に突如発生した熊本地震では、協会メンバーが大変活躍をされました。

5月の総会では台湾衛浴文化協会（台湾トイレ協会／TTA）游理事長の出席があり、JTAから游理事長と林副理事長に、TTAから山本副会長に夫々名誉会員の称号が贈られました。新津春子さんの話に感銘を受けた游理事長は、今年是非新津さんを台湾にお呼びしたいと計画を練っています。

11月の全国トイレシンポジウムでは、（一社）パブリックデザインコンソーシアムとの初の共催も果たし、今後の協力関係の構築も可能となりました。山本実行委員長の企画のもと、天野先生（日大教授）の「パブリックデザインと公共トイレ」でパブリックデザインの問題点が指摘され、斎藤政喜氏の「東方見便録—トイレ文化から見たアジアと日本」では多彩な文化を垣間見ることができました。分科会では多様なトイレの公共性を論じられ、防災・災害用トイレの問題も深く掘り下げて追求されました。特に、これから30年の間に70%の確率で南海トラフ地震、首都直下地震が起きるという内閣府の予測に応え、全国民に対してトイレの備蓄を促すことは、当協会の喫緊の重要活動であると位置づけます。備蓄に関するアンケートにより実態を掴み、備蓄推進の広報活動を行おうとしています。

一方インバウンドの観光客入込数の増加や2020年を見据えて「グッドトイレ推進運動」も山本事業部長のもとフィージビリティスタディの段階になりました。

日本のトイレが世界一だと喜んでいるだけではなく、これからは世界にも情報発信をしていかなければなりません。International Toilet Networkの構築を目指したいと思います。昨年12月初旬には12名の中国の代表団が日本のトイレ視察で来日し、私が日中協会からの依頼で、日本のトイレについて説明をしました。12月15日にはTTA年次総会に招かれ、谷本運営委員と共に「防災・災害用トイレ」に関して講演をしてきました。台北市環境保健局の盧世昌副局長も出席し大変興味を持たれ、「台湾もいつ災害が襲いかかるか分からない。勉強になった」と感想を述べておられました。

30年余を越えてトイレのあるべき姿を追求してきて実のあるアウトプットが次々と出てきています。しかし他にまだまだやることが沢山あります。理想はすべての人がいつでも快適に利用できるトイレであり、地球環境と資源化を考えた循環型施設、人間形成にも役立つトイレです。心地よさとエコなトイレの追求に加え、これからは生活における「トイレの意味」や「トイレの持つ力」を考えて行きたいと思います。“吾輩はトイレである”と、トイレになりきって見る「人間の行動観察」という視点も大切です。それに加え、ここまで発達したトイレのアンチテーゼも考える時期にもなりました。トイレが発達過ぎると人類はどうか。次なるステップを踏みたいと思います。

1. テーマ パブリックデザインとトイレ

ー公共空間の多様な利用と整備におけるトイレのあり方を考えるー

2. 開催日時 平成28年11月12日(土)

午前9:20 受付、午前9:50 開演、午後6:00 閉会

3. 会場

- ・日大理工学部1号館3階 131教室
- ・グッドトイレ選奨の展示は、131教室前にイーゼルを設置してパネル展示(開会～17:50)
- ・懇親会会場 1号館2階カフェテラス(クオリティー・タイム)

4. 共催・後援・協賛

- 共 催 一般社団法人パブリックデザインコンソーシアム
- 後 援 経済産業省、国土交通省、国土交通省観光庁、東京都教育委員会、日本科学未来館(一社)日本建築学会、(公社)日本建築家協会、(一社)日本医療福祉設備協会、都市環境デザイン会議、(一社)日本医療福祉建築協会、(公社)国際観光施設協会、(一財)自然公園財団、(一社)日本福祉のまちづくり学会、NPO法人地域交流センター、全国管工事業協同組合連合会、NPO給排水設備研究会、(一社)日本能率協会(順不同)(順不同)
- 協 賛 TOTO株式会社、株式会社LIXIL、(一社)日本レストルーム工業会、日野興業株式会社、株式会社総合サービス、日本カルミック株式会社、株式会社アメニティ、株式会社井戸屋、湘南ステーションビル株式会社、櫻木神社、株式会社オーイケ、株式会社シミズオクト、中日本ハイウェイ・メンテナンス東名、YAMATO-NB株式会社、トーシンファシリティーズ株式会社(順不同)

5. 参加者

- ・シンポジウム 186名(うちスタッフおよび登壇者29名)
- ・交流会 69名(うちスタッフおよび登壇者19名)

9:20 受付開始

9:50 開会挨拶(山本耕平実行委員長・高橋志保彦会長)

基調講演(天野光一(一社)パブリックデザインコンソーシアム理事長、
日本大学理工学部まちづくり工学科教授)

10:40 特別講演(斉藤政喜 紀行作家)

11:30 研究発表・プレゼンテーションセッション(進行:白倉正子実行委員)

- ・菅野哲男 からくり工房(自営) 「気持ち良〜く、美し〜く」〜お尻洗浄の一提案
 - ・小金丸 昭洋 東リ株式会社商品企画部 トイレ用床材の進化と課題
 - ・石丸忠男 エコペット 「トイレが変わる・トイレ文化を育てる空間づくり」
-

12:10 「グッドトイレ選奨」応募作品のプレゼンテーション(進行:寅太郎実行委員)

12:30 昼食・休憩

13:30 セッション

コーディネーター 高橋 志保彦 (都市デザイナー、(一社)日本トイレ協会会長)

- ・浅井 佐知子 ((有)設計事務所ゴンドラ)
- ・山宮 淳也 (奥多摩町 観光産業課観光商工係長)
- ・千賀 行 (東京都千代田区道路公園課長)
- ・天野光一 ((一社)パブリックデザインコンソーシアム理事長)

15:30 休憩

15:50 特別セッション

コーディネーター 坂本 菜子 (コンフォートスタイリスト、(一社)日本トイレ協会副会長)

- ・新妻 普宣 ((株)総合サービス代表取締役)
- ・谷本 亘 (日野興業(株)営業企画部部長)
- ・八木 正志 (優成サービス(株)代表取締役)
- ・山縣 弘樹 (国土交通省下水道企画課)

17:40 総括(小林純子副会長)

17:50 閉会

18:00 交流会 (司会：寅太郎実行委員)

7. 日本トイレ協会実行委員・当日スタッフ (19名)

氏名	所属	役割
高橋志保彦	(一社)日本トイレ協会会長	開会挨拶・セッションコーディネーター
山本耕平		トイレシンポジウム実行委員長
坂本菜子	(一社)日本トイレ協会副会長	特別セッションコーディネーター
小林純子		総括
佐竹明雄	(一社)日本トイレ協会会事務局長	受付担当 (講師・関係者)
服部起代子	日本カルミック (株)	受付担当 (講師・関係者)
白倉正子	アントイレプランナー代表	プレゼンテーションセッション担当・受付
村上八千世	アクトウェア研究所	グッドトイレ選奨担当
浅井佐知子	(有)設計事務所ゴンドラ	グッドトイレ選奨・セッション打合せ担当
新妻 普宣	(株)総合サービス代表取締役社長	特別セッション打合せ担当
寅太郎	(株)レンタルのニッケン	グッドトイレ選奨進行・交流会司会
石垣歩		トイレシンポジウム実行委員会事務局
荒井美樹		受付
北本健人	ダイナックス都市環境研究所	会場管理
糠澤琢郎		写真録音・イーゼル搬入
石川りさ	学生スタッフ	会場案内、受付補助など
宮迫えりか		
青木瑛智		
渡辺大生	学生スタッフ (天野研究室)	会場案内、会場セッティングなど



会場風景



一般社団法人となって初めてのシンポジウムである「第32回全国トイレシンポジウム」は、御茶ノ水の日本大学理工学部1号館の大教室をお借りして開催いたしました。正規に受付した参加者数は約190名ということですが、大教室は超満員で立ち見の方もいましたので、実際はそれ以上の参加があったと思われます。(受け付け開始から開会までの時間が短かく混雑していたので、受付をスルーして入場された方もおられたようです。)

今回は「パブリックデザインとトイレ」をメインテーマとし、一般社団法人パブリックデザインコンソーシアムとの共催で開催いたしました。理事長の天野光一日本大学理工学部教授のご協力により、同大学の教室をお借りすることができました。厚く御礼申し上げます。



基調講演では天野先生に「景観・デザインの陥りやすい間違い」と題して、景観形成の重要な要素である公共施設、公共建築物のデザインについて留意すべき課題やポイントを、写真でわかりやすく解説していただきました。公共トイレのデザインを考える際にも大いに参考になるテーマでした。

また特別講演として、紀行作家の斉藤政喜氏から「東方見便録ートイレから見たアジアとニッポン」と題してお話をいただきました。斉藤氏は数々の紀行本を執筆しておられますが、その中に「東方見便録」「東京見便録」という著作があります。最近では高速道路のトイレを取材した「ニッポン見便録」を上梓されています。世界各地を歩いたトイレ体験の話は非常に興味深く、会場も大いに沸きました。

今年では会場の都合もあって分科会形式はとらず、二つのセッションを設けました。「パブリックデザインとトイレ」のセッションでは、パブリックスペースの積極的な活用とトイレのあり方について、奥多摩町と千代田区という二つの自治体を含め、報告とディスカッションを行いました。

また4月に熊本地震があり、災害時のトイレ対策がますます重要になってきているという認識から、特別セッション「災害とトイレ再考」を設けました。熊本地震を振り返って、トイレ支援に関わった会員から報告を頂くとともに、国土交通省下水道部から防災インフラとしてのマンホールトイレについての報告がありました。

グッドトイレ選奨には18件の応募があり、来場者の投票と運営委員の選考により6点が選ばれました。

シンポジウムのあとの交流会は学内のカフェテラスで開催し、約70名もの参加がありました。「締め」は西岡秀雄初代会長以来31年間、イベントごとに歌ってきた「アロハオエ」の合唱。手をつないで輪になって歌いますが、他人と手をつなぐのはトイレシンポ意外ではなかなかない体験。初めて参加された方はとまどいながらも「トイレ仲間」に加わったことを実感されていたようです。ちなみにアロハオエのアロハは「愛」、オエは「あなたの上に」という意味で、「わが愛をあなたに」という意味になるそうです。アロハには「さよなら」の意味もあり、あなたと別れるのは名残惜しいということになるのでしょうか。また来年、一堂に会することを祈念しつつ閉会いたしました。



交流会風景



【基調講演・特別講演・プレゼンテーション・セッション】



高橋会長の開会挨拶



天野先生の基調講演



斎藤政喜氏の特別講演



からくり工房 菅野哲男氏



(株)エコ・ペットサイクル 石丸忠男氏



東リ(株) 小金丸昭洋氏



セッション登壇の皆様



優成サービス(株) 八木正志氏

【 グッドトイレ選奨 セッション 発表 】



協会運営委員 白倉正子氏



中日本高速道路(株) 伊藤佑治氏



(株)LIXIL NEXT DOOR Project



(株)サンケイサポート 入澤 徹氏



アクトウェア研究所 村上八千世氏



(株)エクセルシア 足立寛一氏



日野興業(株) 谷本 亘氏



(株)総合サービス 新妻普宣氏



協会運営委員 寅太郎氏



(医)白川病院 野尻 眞氏

【 グッドトイレ選奨 】 応募18点<選奨6点 入選4点>

投票者数 114名

審査方法 事前の審査委員（トイレ協会会長、副会長、運営委員、事務局長）の審査と、当日シンポジウム参加者による投票結果を加味し、総合的に審査を行いました。

No	タイトル	応募者名
1	松原保育園 こどものためのトイレ	松原保育園
2	世界一キレイなトイレを目指して	中日本ハイウェイ・メンテナンス 中央株式会社
3	NEXT DOOR Project 途上国女子児童の生理問題の改善活動	株式会社 LIXIL NEXT DOOR Project
4	「小学生男子が学校でうんちに行けない問題」に音楽で取り組む 世界初トイレバント ！ 「サトミツ&ザ・トイレッツ」の活動について	サトミツ&ザ・トイレッツ ときどきキャンプキャンプ 佐藤満春
5	「美は美を守り美をつくる」	和歌山市和歌浦片男波自治会 8の字会
6	エリアキャストの工夫で清潔なトイレを	中日本ハイウェイ・メンテナンス 中央株式会社

【 入選 】

No	タイトル	応募者名
1	海老名SA（下り線）における混雑緩和対策	中日本高速道路株式会社 横浜保全サービスセンター 岩佐育恵、白石英司
2	外国人観光客のトイレ対策 ～インバウンド対策&2020年オリンピックに向けて～	アントイレプランナー 白倉正子 立教大学学生 福代梨里花
3	携帯トイレ ほつトイレを用いたモンゴル、富士山、乗鞍高原 での実証報告	株式会社 エクセルシア
4	高速道路における多機能トイレの利用実態調査	中日本高速道路株式会社

2016度 グッドトイレ選奨 講評 グッドトイレ選奨審査担当

協会運営委員

村上八千世

浅井佐知子

今年度の応募作品は18点で、設計、製品開発、清掃管理、研究調査、国際協力、出版など、幅広い分野からの応募があり、それぞれのジャンルで年々深化及び進化している。

【グッドトイレ選奨】

・「松原保育園 こどものためのトイレ（松原保育園）」は、管理的な制約が前面に出やすい案件ながら、子どもの行動や情感を捉え、楽しいだけでなく「保育」の機能を見据えたプランになっている。

- ・「世界一きれいなトイレを目指して（中日本ハイウェイ・メンテナンス中央(株)）」は、清掃・管理部署で試行錯誤を重ね、それを調査報告し、再び設計部署に反映させるという組織的内トータルの改善し深めてゆく体制が構築されている。
- ・「NEXT DOOR Project 途上国女子児童の生理問題の改善活動」は、途上国でのトイレ施設の建設から一歩進んで、排泄教育や排泄意識の部分に踏み込み、きめ細かな支援が真のトイレ支援につながっており、それが継続して行われている。
- ・「小学生男子が学校でうんちに行けない 問題」に取り組む、世界初トイレ バンド！『サトミツ&ザ・トイレッツ』の活動について」は、始めて音楽のジャンルからの応募で、音楽の可能性で子どもたちの心を変える、という興味深い取り組みである。
- ・「美は美を守り美をつくる（和歌山市和歌浦片男波自治会8の字会）」は、15年と20人の毎日の清掃でトイレをきれいに保っているという活動が高く評価された。住民主体で行っており、その継続性という点でも、模範的な取り組みである。
- ・「エリアキャストの工夫で清潔なトイレを！（中日本ハイウェイ・メンテナンス中央(株)）」は、トイレの清掃品質アップのために、様々な努力をされ、その例として清掃スタッフ自らが道具の工夫に取り組んでいるという。清掃を深化させている努力が評価された。

【グッドトイレ入選】

- ・「海老名SA(下り線)におけるトイレ混雑緩和対策」は、ブースの配置による混雑対策を実証しており、調査実験して、その効果がビジュアルにわかり易く表現されている。
- ・「外国人観光客のトイレ対策 ～インバウンド対策&2020年オリンピックに向けて（アントレイプランナー代表白倉正子・立教大学経営学部3年福代梨花）」は、今後大事な視点となっていく内容の調査であり、その評価と、今後の継続及び対策への具体化を期待したい。
- ・「携帯トイレ ほっ！トイレを用いたモンゴル、富士山、乗鞍高原での実証報告（(株)エクセルシア）」は、モンゴルでの実証調査が国際協力としても評価されるものである。
- ・「高速道路における多機能トイレの利用実態調査（中日本高速道路(株)）」は、待ち方の研究として、ユニークで独自性がある。今後どのように、応用・繁栄していくかに期待したい。

その他の作品も、新しくつくられたトイレ、新たな製品・研究など、皆様の真摯な取り組みが伝わるものでした。世界に注目されている日本のトイレで、皆様の努力が更なる進化につながりますよう、引き続きのご尽力をお願いするとともに、今回の応募に深くお礼申し上げます。



審査風景



選奨表彰式

●開催主旨説明

・高橋日本トイレ協会会長

本日議論をしていただきたいことは、パブリックデザインとは外部環境の見えるものすべてのデザインであり、その中にトイレも含まれること。公共のみでなく、民間も含まれること。その視点で、パブリックデザインの「あるべき論」「問題点」「ユニバーサルデザイン」「インバウンド観光客の受け入れ対応」「オリンピック、パラリンピックへの対応」への施設整備のあり方、維持管理の方法、その他多岐にわたっての研究発表や議論を期待したい。

・山本耕平実行委員長

日本トイレ協会の創立時は4Kといわれたトイレも、今では世界的にも高く評価されるようになった。しかし、商業施設等民間に比べ公共トイレについてはまだ改善の余地が大きい。パブリックデザインとは、「美しく、使いやすく、居心地の良い、安全で豊かな公共空間を実現することである」公共トイレのあり方をこのような視点で改めて考えてみたい。そして、今回は、これに会員による熊本地震の報告の時間を設けその対策を、今日の会場の参加者みんなで考えていきたい。

との両名の挨拶で会が始まった。

●基調講演－1

日本大学理工学部まちづくり工学科天野光一教授から「景観、デザインの陥りやすい間違い」と題し、景観デザインは自然と人為で造られる形の総合された環境の眺めであること。その場合人為の加わり方は時に間違いを起こしやすく、自然との調和を崩してしまう行為も多いこと。その時の留意点として以下の9項目が挙げられる。

1. 要請の認識不足 2. 個別対応 3. デザイン対象の間違い 4. 場所性の間違い 5. 風景の中での役割の認識間違い 6. 個性と奇形のはきちがい 7. 地域活性化とデザイン 8. 調和の呪縛 である。

デザインが依頼されたとき、要請された事柄は、全体の一部かもしれないが、その周辺との繋がり、全体空間、繋がり同士の関係性等トータルで捉え、調和させ、その環境の主役が人間や自然であるとの自覚が必要。デザインの内容の留意点として、周辺との調和は勿論、変化や、地域素材のみでなく、その場にふさわしくかつ新しいデザインを模索していくことが必要である。また公共施設のデザインは、寿命が長く、利用者に対する影響の大きいことから責任の重大さを考慮しながら実践していくことが重要である。それらデザイン行為は人のためになされるものであることが重要であると話された。

●基調講演－2

紀行作家の斎藤政喜氏は、世界を旅する途中で見たアジアのトイレを中心に、「東方見便録」をはじめ、「東京見便録」等考現学的視点での著書が多い方である。彼の至福のトイレは、大自然の中だとか。トイレの快適さや汚く感じる要素は各国毎に違う。きれいなトイレのみを良しとしている我国のトイレの評価のあり方に一石を投じてくれた。即ち排泄の原点、公共の原点を考えさせられた。そしてそれは、人が共有する公共トイレに関する、個人個人への快適さの創生のあり方に広げて考えるヒントにもなるものであった。

●プレゼンテーションセッション

下記3人の会員からの発表があった。

「新しいトイレ文化を創造し育てる」は、株式会社エコ・ペットリサイクルの石丸忠男さんで、トイレの快適化はますます重要になってきており、多くの課題は解決したかに見えるが、まだ解決に至らないことの一つとして小便器足元の尿飛散の汚れがある。その解決として簡単に貼れて汚れれば剥がせる強粘着シートを提案したい。

「トイレ用ビニール床シートについて」は東リ株式会社の小金丸昭洋さん。

・ワックスメンテナンス不要・防滑性・防汚性、耐熱性等あり・消臭性・豊富な色柄を有する新製品「消臭 NS トワレ NW」について、さらに高耐久性や湿式清掃可等、性能をアップして登場したとの発表。

・「気持ち良ーく、美しーく<局部洗浄の一提案>」は、からくり工房代表菅野哲男さん。

進化した温水洗浄便座のこれからについて、排泄物の除去のみではなく身体的快適さにも考慮したいとの視点で。

●セッション1

「パブリックデザインとトイレ」と題し高橋志保彦会長の司会で行われた。

話題提供者として、設計事務所ゴンドラの浅井佐知子氏が、31回にわたる日本トイレ協会のグットトイレ10、それに続くグッドトイレ選奨に見る我国のトイレの進化を発表。

奥多摩町観光産業課の山宮淳也氏は、東京の94%の山林を持ち、東京人の生命の源ともいべき場所で観光客が年々増加している。公共トイレはデザインを重視しつくられてきたが、メンテナンスの悪さ、マナーの悪さ、臭さ汚さに見直しの必要を迫られ、清掃者や料金の改善や特別清掃の実施などが行われ、平成27年には観光客に対する公衆トイレ日本一をめざし、トイレ整備と清掃管理をトータルで考えた指針を策定したとの発表。

千代田区の道路公園課長の千賀氏は、秋葉原の公共トイレ有料化は区全体のトイレのあり方を総合的に検討することから誕生した今後の公共トイレのあり方の試金石として造られた施設であること。12年目となった区取り組みは、まだ、施行の評価の結論は出ていないが、今後もこの有料トイレの快適さをシンボルとして、全体のトイレも底上げしていくことに取り組んでいること。今後より効果的な維持管理の展開を模索していることと話された。ここでのまとめは、公共トイレの快適さをめざした実践がこの30年行われ、この間ずっと議論されたその快適さの維持管理の方策が確立できていない状況が続いていることが明確にされた。今後はトイレの整備とメンテナンスを総合的に取り組み、デザインとしては目立すぎず、周辺環境に埋没しすぎずをめざす方向とすべきではないかとの意見であった。

●特別セッション

災害とトイレ再考—熊本地震を振り返ってとして特別セッションが設けられた。

コーディネーターを坂本菜子氏。話題提供者として、株式会社総合サービスの新妻晋宣氏、日野興業株式会社谷本亘氏、優成サービス株式会社八木正志氏、国土交通省水管理・国土保全局の山縣弘樹氏の4名での発表と議論がなされた。

内容をまとめると、防災対応トイレは阪神淡路大震災直後の頃に比べると支援物資やトイレ等の供給方法や研究がかなり整理され進んでいる。トイレは携帯トイレ、簡易トイレ、マンホールトイレ、仮設トイレの4種類を場所によって使い分けすることで、より細やかにニーズに対応できる状況が実現できることがわかった。今回の熊本の場合は、近年の数回の大地震の体験から、機動力がUPし、また、規模的にまとめやすかった。しかし、ここでも障害を持った人への支援は遅れていたこと、そこの支援には車載型トイレの利用が効果的であったこと。今後、大規模な地域での対応やシュミレーションを実施することが僅僅の課題であることが話された。

●グットトイレ選奨

18点の応募者の中から6点が選ばれた。(別項)

●まとめ

今回のシンポジウムでのテーマ「パブリックデザインとトイレ」に関しての議論をまとめると、デザインに関しては機能のみでなくまた、個別に考えるのではなく、周辺環境や空間と一体で考えること。

公共トイレに関しては、これも機能、デザインとメンテナンスをトータルで創り上げること。そしてそのデザインの原点は使用者が中心にあるということが示された。

よってパブリックトイレのデザインは、まちや周辺環境と一体で、機能とメンテナンスを両輪で考えデザインしていくことが明確にされたと考える。

松原保育園 こどものためのトイレ

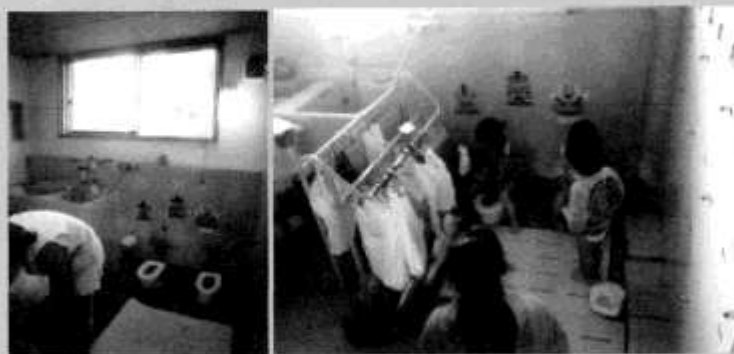
松原保育園（東京都昭島市）

今から10年ほど前、保育園の子ども便秘が気になりました。そんな時に、村上先生の『うんこダスマン体操』（絵本）に出会いました。そして当園の子どもたちに紹介して、とても楽しく盛り上がり子どもたちが自分の排泄物を意識できるようになりました。当時保育園のトイレはほとんど洋式に変わっていましたが、小学校のトイレは和式が多く、年長児さんに和式のトイレの使い方を学習してもらうことも必須でした。保護者にも村上先生から子どもに外で『うんこ』をする抵抗感をなくすお話もしていただきました。

そして当園も木造園舎から鉄筋コンクリートの園舎に改築して約25年経ちましたので、あちこちに手を入れなければならない時期になりました。そんな時村上先生が関西の保育園の保育室にオープントイレを手掛けた紹介の保育雑誌に巡り合いました。2階の幼児用トイレは構造上これまでのトイレの区画を変更せずにリフォームすることに留まりましたが、トイレがいっぱいときちょっと腰掛けて待つスペースができたりして、明るくなったトイレは子どもたちの憩いの場になっています。1階の乳児室を改築するに当たり、1・2歳の縦割り保育の保育室を考える中で、そこにオープントイレを設置してみようということになりました。以前のトイレを考えると臭気がとても気になったのですが、村上先生から昨今のトイレ器具は以前のものに比べて、臭いはほとんど気にならなくなっているということを知り、保育室の中にオープントイレを設置した設計図を作っていただきました。実際出来上がった保育室は想像以上に快適なものでした。（もう少し広い保育室だったら更に良いと思います）1・2歳が同じ便器を使っておりますが、特に未だオムツが取れない1歳の子ども達が、既にオムツが取れて便器を自由自在に使用している2歳児を見て、これまで以上に早く便器を使ってみたいという願望がうまれてきて、オムツが取れる時期が早くなってきているように思います。一つだけ気になる点は、水洗の音です。午睡中にトイレを利用した時の音にはとても敏感になっています。

松原保育園 園長 山田祥子

改修前の0～1歳児用トイレ



25年前の設計ではトイレは水洗いが常識の時代でした。床も壁もタイルで冷たい感じのトイレ空間でした。保育士さんたちが工夫してバスマットを敷いたりして子どもたちが裸足でも使えるようにしていました。またトイレは同時に汚物流しや掃除道具、沐浴槽なども共存していて、子どもの用足し動線と大人の作業動線が入り混じっていました。大人の作業には洗剤やバケツなど子どもには触らせたくないものがたくさんあって、保育士さんは常に気を付けていなければなりませんでした。

改修前の3～5歳児用トイレ



0～1歳児のトイレと同様に水洗いを前提としたトイレの仕様でした。昔のプランではトイレは余ったスペースに配置するということが当たり前だったので、松原保育園のトイレも廊下から細長い空間を通して奥の小便器や大便器にアクセスするというレイアウトになっていました。トイレの奥まで行って一人で用を足すのは子どもにとっても不安で、保育者にとっても子どもの気配を感じにくいトイレでした。

オムツが早く取れる！ 0~2歳用トイレ
オープントイレ！



保育室の中にトイレを取り込んだオープントイレです。空間的にトイレと保育室がつながっているためにトイレ空間も居室のような感覚で使用できることが特徴です。木質の床には子どもがそのまま座り込んでもあわてる必要はありません。松原保育園ではトイレ空間とロッカールームを一体的に整備しました。保護者が登園時に着替えをセットして、時には子どもが便器で用を足すのを見届けるまでをワンストップでできるようになりました。

保育の中でも、手洗い、用足し、着替えの一連の動作が一箇所でできるため動線がスムーズになりました。

沐浴、汚物流し、洗濯機など、大人が作業するためのものはユーティリティコーナーにまとめ子どもの動線とは分けました。

ひといでも行きたくなる！ 3~5歳用トイレ



廊下からずーっと奥まで細長い空間を、あまり細長く感じないようにするために工夫をしました。廊下側に小便器、中間に待合ベンチ、奥に大人用ブースと子ども用ブースを配置しました。

改修工事のためトイレの床は従来よりも数十センチ上がってしまいましたが段差が不快でないように大きくステップを確保することにしました。

設計・総合プロデュース：アクトウェア研究所 村上八千世、
設計：林一則・まちと建築デザイン事務所、
家具デザイン：粒々人 大沼英佳

臭わないトイレの新提案

～前方傾斜5度床 男子小便器の発明（特許登録済）～（医）白川病院 理事長・院長 野尻 眞・泉

お茶と檜の岐阜県白川町の白川病院 院長野尻眞です。今回臭わないトイレの新提案をします。昭和56年、新築移転開業した時の病棟トイレは、男子入院患者がトイレから帰ってくると、スリッパが小便でべたべたとなり、そのまま病室に入り込む。臭いや感染防止のため、30年以上の間トイレの改善が必要だと痛感してきた。

【発想転換した理由】

痛いから鎮痛剤・熱が出たから解熱剤と言った対症療法ではなく、原因療法を心がけてきた医師として、「トイレは汚れて当たり前の所」との先入観を捨てて、原因除去した「汚さない・臭わないトイレ」への発想転換をした。

何処にでもある既存の男子トイレの介護用の手すりにもたれかかって用を足したら着衣が汚れなかった時、後ろを振り返って見たらつま先立ちになっていた。あっ！これだと思い5度の角度をすぐに思いついた。この5度という角度は、実は身長が170cmで股下80cmの私が5度傾くと80cm $\sin 5^\circ$ から股間の位置が7cm前方へ移動することになる。5度上げることでいわゆる”半歩前”の位置を自然に絶えずキープすることができる。例えば8度傾くと80cm $\sin 8^\circ$ から11cm前方へ出ることになる。さすがに傾斜を10°まで上げるといわゆる前屈み状態になり体が補正のために反り返ることになると推察する。

この5度傾斜でも充満した膀胱に対し腹腔内腸管が上から覆い被さる体勢になり、圧迫により排尿が促進され、高齢者にとっては排尿し易くなる。無論ズボンの汚れも少なくなった。

【清潔・安全・消臭】

前方傾斜5度床の汚れないトイレを発明、平成26年10月施工の新館増築の際外来トイレに採用した。施工してみて、小便器周辺に尿漏れ・尿飛沫の飛散が少なくなり、臭い消失・楽な清掃（節水・短時間・清潔・感染防止）で、安心・安全・経済的な外来トイレが完成した。

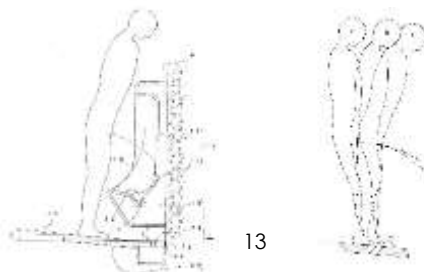
平成28年6月に『男子便所用小便器ユニットの特許』を取得した。

トイレ規模は男子：小3台、大2台と女子：大4台、多目的1台の計10台である。

【臭わない科学的根拠】

夏に見学に来た、とあるトイレ会社の方が完成したトイレを見て「汚れないという根拠になるデータ」を求めてきた。科学を扱う医師も数字的なデータの重要性はわかるが、”Before 昭和56年のトイレ”と、”After 平成26年のトイレ”では、人間の五感のうち嗅覚・視覚・聴覚・触覚からして大改善したことを体験している。また、大小便には大腸菌など細菌・ノロやロタのウイルスが付着することがあり、単なる液体ではない。

よって、大小便のコントロールがなされたことは清潔・感染防止上、重大な制御根拠になる。これこそが”汚れない・臭わない”という科学的なデータと考える。



【省エネ：作業の高効率を実現】

長靴を履いてバケツやホースで水を流しながら1時間以上かけていた清掃が、今では、ものの10分で完了している。臭いの問題もほとんど無く、作業員にとっても快適な作業場になっている。法人の経営的にも節水・作業効率・時間節約に大いに役立っている。

【工場製品化で企業育成】

もし一企業がこの特許を活用し、前方傾斜5度床・小便器・側溝の“成形一体型製品”のモジュール化で大量生産すれば、安価・工期短縮が図られる。例えば、JAPANのTOILET → “J a p a L E T”と名付けて全世界へ販売すれば、世界評価される世紀的発明品になると考える。どなたか世界市場をターゲットにトイレ文化を創造しませんか！

【前壁にヒノキ・無垢材使用して地域創成】

新築外来トイレでは木曽檜の無垢材で2700×720mmの前壁を作り、ヒノキチオールによる消臭・調湿を図っている。更に、手の触れる下方170mmの檜はエゴマ油で手垢防止をした。トイレに立ってもアンモニア臭が全くない。2年たった今も、いわゆるトイレ臭は芳香剤を使用しなくても消臭出来ている、経済的に。この発想で、当地に広がる東濃檜の間伐材を活用して、岐阜県で消滅集落第1位の白川町の地域創成・地場産業の活性化が図られるものと期待する。

【新築外来トイレの換気方式の工夫】

また、トイレには換気扇が必置だが、大便器の個室の換気方式は天井ではなく足元に設置、吸気・排気をしている。無論トイレ便器そのものにも脱臭機能を付けているが、これらの工夫も相まっていわゆるトイレ臭は全く感じられない。

【トイレの環境：化学物質 VOC・LED 電磁波対策】

2013年(平成25)3月学校医をしている中学校の新築トイレを見学して、私自身が化学物質で心房細動^{※1}を誘発、カウンターショックで救命された。その時のトイレ空気環境検査からA社のゴム溶剤系接着剤からのVOCを特定し、加茂郡の学校保健部会へ報告^{※2}した。それを受けて、岐阜県教育委員会は「シックスクール問題の理解と対応のために、平成25年改訂版」^{※3}を作成配付した。

今回の新增築棟はトイレの床材・ついたてなどのペンキ仕上げ・接着剤の選択で有害化学物質に対し特段の配慮をしており、有害化学物質からフリーの状況を作った。

また、ダウンライトはP社製だが、独自にノイズフィルターを付けて電安法のLED安全基準よりも更に厳しい、25db以下の低ノイズLEDの設置をすすめてきた。

【2020年東京五輪で海外からの評価：日本のトイレ文化・文化水準の向上】

この特許を2020年東京オリンピックの競技場・施設・ホテルに採用して頂ければ、アスリートの快適環境・成績向上、観客の評判・海外渡航者からの賞賛を得ると自負します。ひいては、日本文化の向上に寄与し、日本の文化水準の評価バロメータになると考えます。

<参考文献>

※1 アルミニウム鋳造工程に起因する大気汚染による健康・病院被害の事例 野尻 眞

臨床環境医学 21-1. P94-103:日本臨床環境医学会〈旭川大会 会長賞受賞〉2011

※2 「心房細動Afを引き起こした学校医からの報告」野尻 眞 加茂の子ら No41. P3-4 2013

※3 岐阜県教育委員会「シックスクール問題の理解と対応のために平成25年7月改訂版」2013



第6回「トイレ洗流」大募集 選考終る ！

北から南まで全国網羅、全1357作品応募

「みんなにやさしいトイレ会議」実行委員長 竹中 晴美

この度は、第6回「トイレ洗流」大募集に、ご応募を頂き、心よりお礼を申し上げます。応募総数は、昨年度の1,305作品を更に超え過去最大の作品数となりました。また今回の最高齢は、99歳がおふたり！新潟市と愛知県のご応募でした。80代以上の方も数多く、青年たちよ、もっと気張れ！言われているようでした。

今回のテーマは「マナー」でしたので、いつものようにホロリとさせる句は少ないように感じました。（流行のポケモン、神ってるも入ってますよ）

今年も「公募ガイド」に掲載頂いたこともあり、毎日、毎日、郵送でどっさり届きます。メール応募に比べると作業は大変ですが、しみじみとかみしめながらの入力には、頬がゆるみましたね。 またもうお馴染みになりました亀井戸中学校の皆さん、

今年もご応募ありがとうございます！

トイレの奥深さと楽しさにハマられた皆さま方には、メンバーに代わりまして、心よりお礼を申し上げます。

また下記の学校の先生方には、トイレ文化の発展のために、多大なる関心を持って頂き、何よりも有難く心より感謝申し上げます。

- 熊本県立多良木高等学校様・・・8名
- 三重県立津高等学校様・・・15名
- 亀井戸中学校2年生・・・70名

爆笑番外・ペンネーム編 オソカル・音入れ・便器ですか・弁当ベン・年も一緒に流そう・

トイレオー

以下 受賞作品です（敬称略）

- つぶやき大賞 1名



グローバル トイレマナーは 苦勞ある

ヒメ父（千葉県茂原市）

※金沢のトイレの神様御堂付き&オリジナルトイレペーパー

書評

私たちトイレ会議も細々と、かつ地道に活動を広げて6年目。少しずつ進化？しています。最近のトイレは確かにグローバル過ぎて流すボタンがわからない！ドキドキしますよね。そんな想いを大便ならぬ代弁、しかも韻歩を踏んで“グローバルと苦勞ある” 全員一致でした。

● つぶやき優秀賞・・・3名 ※リクシルグッズ&オリジナルトイレットペーパー

おばちゃんが 時々なるね おじさんに 臨海和笑（東京都江戸川区）

書評

もうお馴染みのペンネーム臨海和笑さんです。トイレネタでは、おばさんパワーについては本当に毎度おなじみ。たくさん作品がきます。でもね、こんな風におばちゃん！と可愛い呼び方言ってもらうと、迷惑だけどなんだか憎めない・・・そう思いませんか？

掃除して 学ぶマナーの 大切さ はぐれ雲（千葉県市川市）

書評

実は、このペンネームの方も、ずっとお馴染み。だんだんとても他人とは思えません？句としては、奇抜なところもなく普通。でも基本って、そんな難しいことではないとでなくて、改めて、普通に共感させる。誰にでもわかるマナーアップの基本として優秀だと思います。

紙がない 言うに言えない 俺はハゲ こうちゃん（北海道北見市）

書評

ごめんなさい。メンバーみんな爆笑でした。しかも長崎市の担当が、髪をやや気にしている・・・他人事とは思えないの1票追加で受賞！これがマナーなのか！と言われても、楽しいからいいではありませんか。紙（神）にかわってお許しを。

● つぶやき高校生部門・・・1名 ※ リクシルグッズ&オリジナルトイレットペーパー

センサーが反応するまで出られない 飯田（三重県立津商業商業科）

書評

はい、経験したことがあります私も。最近の最新トイレは自動で流れます。でも一見すると自動か手動かわかりません。特に大の後は、とても不安になりますよね（笑）。センサーが壊れていたらどうしよう？なんて思わず考えます。一同、共感でした！

● つぶやき高齢賞・・・2名（ともに99才） ※花王石鹼トイレットペーパー&オリジナルトイレットペーパー

共便は、衛生管理後始末 パッション（愛知県）

書評 ペンネームがパッション！素晴らしいのひとこと。トイレのマナーに殊のほか関心をおもちでした。もちろん、情熱も。これからも力作をお待ちしております。

水洗で水に流さぬ令夫人 今井（新潟市）

書評

令夫人という言葉に年輪を感じさせます。素敵な句だと、みなうなづくことしきりでした。

●つばやき佳作賞……7名 ※花王トイレイックル&オリジナルトイレットペーパー

いつの日かトイレロボット呼ばば来る …桐山 (東京都)

要確認 流れに耐える ヤツもいる……強運の女神 (東京都)

灰皿にするにはでかいトイレかな……木立慈雨 (宮城県)

出先でも トイレロールを 換える俺…… 角森 (島根県)

巣立つ日に母とトイレにありがとう……井上 (愛知県)

父が行く私が走るちょっと待て……みゆ (三重県立津商業高校)

困ったぞ 千と千尋が 紙隠す……三四郎 (栃木県)

●次点……13名

紙がない！補充の棚に紙の神	あん時は…… (東京都杉並区)
「流さない」そんな話は「流せない」	酒乱Q (千葉縣市川市)
磨かれたトイレが決めた玉の輿	さつまハヤト (鹿児島県出水市)
パパお願い 立ってファールを 打たないで	よし坊 (東京都目黒区)
おトイレが 公衆電話と 化している	月小町 (神奈川県横須賀市)
トイレこそ自立と介護分かれ道	ローズマリー (静岡市)
待てないよ小さくサンバ踊りだす	おうめちゃん (大阪市淀川区)
老人に洋式譲れ女学生	ペーパー子 (神奈川県秦野市)
どこ押せばよいか判らず出られない	島人 (京都市西京区)
下げるのは 会社で頭 家、便座	いまいま (東京都豊島区)
ペーパーのテイクアウトはできません	せちい (大分県臼杵市)
デパートの景気トイレの紙で知る	みかど (広島県広島市)
飛び散りに注意 360度	ビーチワ (大阪府羽曳野市)



■ 第4回運営委員会

- 1 日時 11月7日（月）17時40分～19時30分
- 2 会場 ㈱レンタルのニッケン 6F役員会議室
- 3 議題 (1) 第32回全国トイレシンポジウム準備状況報告
(2) グッドトイレ選奨応募状況について
(3) グッドトイレ推進運動進捗状況について
(4) トイレ・バス・キッチン空間フェア2016経過について
(5) 災害備蓄トイレアンケートについて
(6) 国際交流について
(7) 上半期収支状況と下半期の見込み

■ 第5回運営委員会

- 1 日時 12月5日（月）17時35分～19時40分
- 2 会場 ㈱レンタルのニッケン 6F会議室
- 3 議題 (1) 第32回全国トイレシンポジウム報告
(2) グッドトイレ推進運動進捗状況について
(3) 国際交流について
(4) HPの近況
(5) 美化ピカトイレの秘密展報告
(6) 各研究会の動き

編集後記

皆様、新年あけましておめでとうございます。私事ですが、去年は還暦を迎え、ますます1年の経つのが早く感じられるようになってきた今日このごろです。ちなみに、年齢とともに時間の経つのが早く感じるのは新しい経験が少なくなり、同じことの繰り返しが多くなるからだとか・・・。

さて、今回の協会ニュースですが、新年に相応しく高橋会長の年頭の抱負で始まり、11月に開催された「第32回全国トイレシンポジウム」の総括、グッドトイレ選奨に選ばれた「松原保育園こどものためのトイレ」他の寄稿など、読み応えのある内容となっています。去年のシンポジウムには所用により参加出来なかったもので、大変興味深く拝読させて頂きました。

今年も多く活動テーマが上がっていますが、新たな気持ちで取り組んで参りますので、会員の皆様にはより一層の協会活動へのご支援・ご協力をお願い申し上げます。（運営委員 中森秀二）

一般社団法人

〒112-0003

日本トイレ協会

東京都文京区春日 1-5-3 春日タウンホーム 1F-A

JAPAN TOILET ASSOCIATION

Tel(Fax) 03-5844-6123

[URL:http://www.toilet-kyoukai.jp](http://www.toilet-kyoukai.jp)

e-mail:jta-jimukyoku@toilet-kyoukai.jp